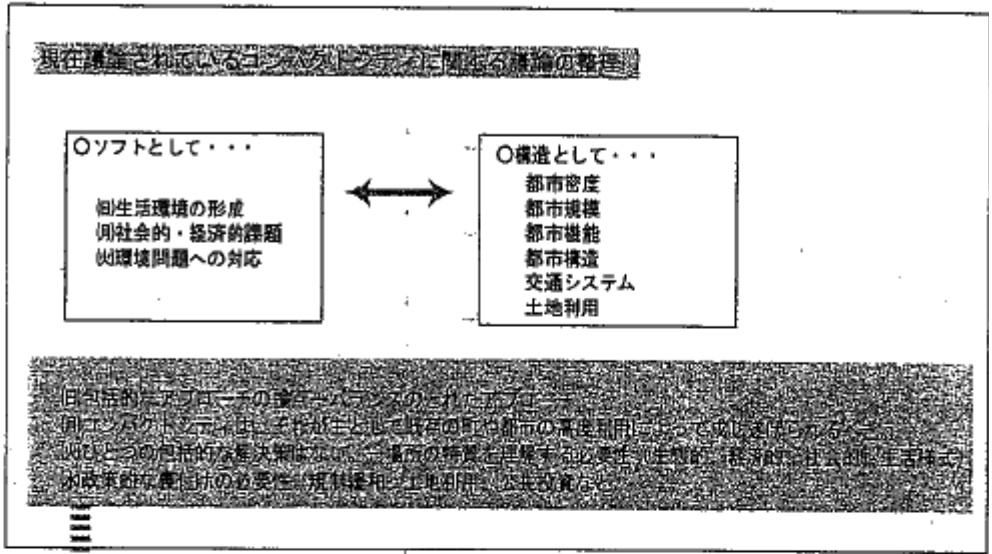


日本における都市づくりの背景

都市づくりの目標
 人口減少社会に対応した都市づくり
 省資源・リサイクル型社会の実現
 住み続けられる地域環境の形成
 長期的な視野からの都市づくり
 環境に負荷の少ない土地利用
 都市管理経営コストの抑制
 都市の成長管理（拡散から再集積へ）
 公共交通機関の再評価。

コンパクトな都市づくり
 (コンパクト・シティ) の必要性



アメリカにおけるコンパクト・シティへの取り組み
 ○シアトルにおけるアーバンヴィレッジ

- 都市づくりの目標**
- 1) 市全体の個性と多様性の多様性
 - 2) 環境保全、経済開発、治安、社会公正のバランスのとれた成長管理
 - 3) 既存のインフラを活用した人口と就業の場の誘導配置
 - 4) スプロールの防止とOSの保全・拡大
 - 5) 職住が近接したアーバン・ヴィレッジのネットワーク形成
 - 6) 地区コミュニティのまちづくりプロセスに対する支援
 - 7) アフォーダブル住宅の供給と居住の選択性の拡大
 - 8) 自家用車への依存の低減と公共交通手段の拡大
 - 9) 経済開発における優先順位の設定
 - 10) 都市づくりの目標に向かっての公共投資の誘導
 - 11) 都市づくりのモニタリングと状況変化に対する柔軟な計画の調整

生活の質向上のための成長と保全のバランス

土地利用のあり方と交通システムを前提とした
 より密度の高い複合的な土地利用のコンパクトなまち

